

身近な景色の中に
トレイルルートが
あることが自慢

よ いち
佐藤 與一 さん

佐藤工務店 大工

昭和24年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。
東京で大工の修行をしたのち、南三陸町にUターン。
大工で培った腕を活かして、ハイカーの休憩場所を製作。

10代後半から東京で大工の修行をして経験を積み、30代で南三陸町に戻ってきました。
家を建てる際は、土地も材料も自然からの恩恵だという意識を常に持ちながら、大工一筋で仕事を
しています。最近、樹木を何十年も育て、切り出し、家を建てるという地産地消で成り立っていたサ
イクルが崩れてきたように思います。

私は震災を機に、海が近い場所から同じ町内の里山が広がる入谷地区に引っ越しました。移り住ん
だ当初、周辺は木々が生き茂っていましたが、太陽光発電施設の開発をきっかけに道路脇の斜面の
木々が伐採されました。すると、田んぼや竹林のみに点在する民家、神社や小学校、山並みが広がる昔
ながらの里山風景が現れて、「ああ、こんなにも良い落ち着いた景色があったのか」と、この場所の良さ
に自分自身感動しました。

入谷地区にはトレイルルートが通っており、歩くハイカーを見かけたときは労いの言葉を掛けたり、地
域の方から伝え聞いた地図には載っていないこの地域の歴史や物語をお話したりしています。
そんな中、知り合いから仮設住宅を解体した際に出た木材をいただきました。この木材を活用して、
ハイカーにゆったりとこの風景を味わってもらえないかと一念発起し、休憩場所をつくりました。今で
は多くのハイカー達が立ち寄ってくれる場所になっています。

車で走ると見逃してしまう入谷の良さを、じっくり歩いてまわって「入谷、良かったな」と心の片隅にで
も思ってもらえたら嬉しいです。これからもハイカーを応援していきます。



佐藤さん自慢の入谷の里山風景(別日撮影)。
テーブルと椅子が備え付けられています。
パンやおにぎり片手に、ゆったりとこの景色に包まれてみては？